

鴛鴦夢幻

今年「鴛鴦夢幻」と題し、様々な形の夫婦の情愛をテーマとした作品を揃え、ご覧頂きます。

狂言 箕被 みかずき

連歌好きが高じて妻から離縁を求められた夫。暇の印に夫が手渡した箕を、頭に被いて出て行く妻の後ろ姿を夫が発句に詠むと…。連歌の徳を主題として、連歌によって再び仲直りする夫婦の心情の機微を表現した作品です。「箕」とは穀類の殻や塵を除くためのザル状の農具のこと。

能 楊貴妃 ようきひ

唐の玄宗皇帝は、安祿山の乱の折に馬鹿が原で殺された楊貴妃の事が忘れられず、神仙の術を得た方士に貴妃の魂魄を尋ねさせます。方士は天上地下をくまなく探し、遂に常世国蓬萊宮に渡り、漸く太真殿で貴妃と対面します。帝の嘆きを聞いた貴妃は、使者の方士と会った証に剣を与え、更に帝と貴妃が永遠の愛を誓った「比翼連理」の言葉を伝えます。やがて帝の命令を果たして帰ろうとする方士に、貴妃が霓裳羽衣の舞を見せて別れを惜しむと、方士は証の剣を手に帝のもとへと帰り、貴妃は涙にうち沈み、再び蓬萊宮に留まるのでした。白居易の名詩『長恨歌』に因った作品で、金春禪竹作。

番組

お話
名残の恋ごころ
(三十分)

林望(作家・国文学者)

仕舞(観世流)

蘆刈
あしかり
きり

観世 喜正

井筒
いづつ

観世 喜之

籠太鼓
ろうたいこ

野村 幻雪
(四郎改メ)

狂言(和泉流)

箕被
みかずき

シテ
アド
野村 万作
内藤 連

能(観世流)

楊貴妃
ようきひ

シテ
ワキ
アイ
笛
小鼓
大鼓
地頭
主後見
坂 真太郎
工藤 和哉
石田 淡朗
一噌 庸二
鶴澤洋太郎
柿原 弘和
野村 幻雪
観世 喜之

終演予定 午後4時30分

上演中の撮影・録音は固くお断り致します。未就学児のご入場はご遠慮頂きますよう、お願い申し上げます。やむを得ぬ事情により、出演者、演目等に変更が生じる場合は何卒ご了承下さい。

令和3年10月2日(土)

◎入場料 正面 : 8,500円
(全席指定・税込) 脇・中正面 : 6,000円
学生GB席 : 2,500円

午後1時30分開演(午後12時30分開場)

千駄ヶ谷 国立能楽堂 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL:03-3423-1331

本公演は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、公益社団法人能楽協会の「能楽堂における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」、ならびに公益社団法人全国公立文化施設協会の「劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に沿って、開催致します。あらかじめご了承下さいますよう、お願い申し上げます。

入場券のお求めは主催者または下記へ

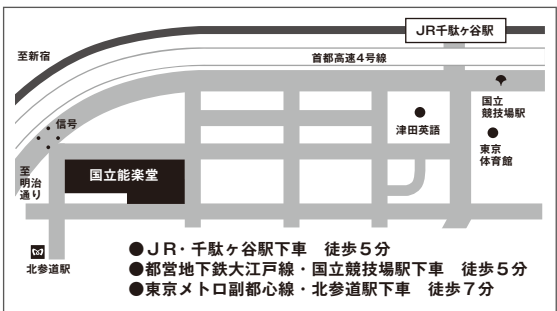
前売開始
8月20日(金)

主催 真双会 〒110-0003 東京都台東区根岸5-11-5
TEL 03-3873-5404 FAX 03-3873-5635

http://shinnohsho.net/
info_shinnoh@yahoo.co.jp
郵便振替口座 00160-9-606000 真双会



坂 真太郎 (ばん しんたろう)
能楽師シテ方観世流。昭和47年生。坂坂 真次郎の長男。三世 観世喜之師に師事。公益社団法人観世九事会会員。公益社団法人能楽協会 東京支部常議員。一般社団法人 日本能楽会会員(重要無形文化財能楽総合保持者)。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。安宅賞を受賞。昭和50年の初舞台以来、これまでに『石橋』『狸々乱』『道成寺』等を披露。平成15年 皇居・桃華楽堂で御前演奏。台東区アートアドバイザー・たいとう観光大使。



幽玄の世界
噺子が誘う、
宮本卯之助
この国の佳き伝統とともに
株式会社 宮本卯之助商店
創業文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売
www.miyamoto-unosuke.co.jp